

(株)ルブテックジャパン 佐藤 博
ボロンナイトライドへの思い

ルブテックボロンナイトライドを製造したのは、地球の環境を守りたい・・・ただそれだけの願いです。

きっかけとなった過程と環境に対する思いを伝えたいと思います。



理想の景色です・・・美しい空と緑と道と・・・

(オーストリア郊外にて)

★〈本当の空〉

私は、小さい頃から星が好きであった。思うに父の影響であろう。父は私がそれこそもの心つかないうちから私を連れ、当時ではかなりめずらしいシュミット型の天体望遠鏡を車に持ち込み、広い空き地へ行き天体観察をしたものだ。父の夢は天文学者であつたらしい。

しかし当時は生活も苦しく家族を養うためになかなかかなえられなかった訳だが、

父はいつも広い野原で澄んだ夜空を見上げ、望遠鏡を覗きながら私に言ったものだ。

「なあ、博・・・お父さんは実は、新しいたくさん星を発見しているんだよ。それは、望遠鏡を使わなくても発見しようと思えばできる。こんなに空気がきれいだからだ。新しい星だって発見できる。この澄んだ空気を大切にするんだぞ。この澄みきった夜空が永遠に続くといいね。これからもずーっと・・・。」

小学生の頃、私は父と共にほとんど毎週のように天体観察に出かけたわけだが、そのうち私が過ごした当時の九州地方に窒素酸化物、大気汚染などのスモッグ・・・が現われ始め、ガソリン車、ディーゼルエンジンなどの排気ガスや黒鉛（スス）等の「公害」と言われている環境状態が始まって来た。また当時では、最先端の技術で作られた製鉄工場や化学工業などが集中する工業団地に、異常なまでの煙が立ち昇った事などが原因であったが、父はそれを本当に残念に思い、この澄みきった空気が永遠につづく・・・、と言っていた父の明るい表情はだんだんと消えた気がする。その後も、星が好きな父と望遠鏡をかついで空を見上げる楽しみは続いたが、澄みきった空はだんだん消えていくとともに、父の沈んだ声が多く聞かれるようになった。

私が小学5年の時、父は自分の愛した本当の空に逝ってしまった。まだ小学生だった私だが、父の通夜の晩、私の枕元に父は現れ、「博、空を守れよ、そうしなければお前が見えなくなってしまう・・・。」と言ったのである。

私は本当にその時に父を見て父の訴えを聞いたのだ。

そんな私の子供時代、当然父の影響は大きく、それから大人になってからも小さい時の思いは強く、空気が澄みきって美しくあってほしい・・・私は常にそんなことを考えていた。九州では汚染のため水俣病で人々は苦しみ、公害といえるものが世間でも話題になり、私と同じように澄んだ空気を望む人間がたくさん増えていったように思う。そして当然国全体でも公害問題が湧き上がり、地球環境を考えていくようになった。それは本当にとっても大切なことであると思っている。

★〈地球を皆で守りたい！〉

Save the earth, Save the green.

これは誰もが一度は考えたことだとは思ふ。しかしいったいどのくらいの人があるための努力をしているのであろうか。それこそイメージと感覚だけでその言葉をとらえているだけの場合が多いのではないか……。

そんなことを常日頃考えてしまう私であるが、最近では地球環境エコ運動が世間でも話題になり、エコ検定までできるくらいに国自体が取り組み始めている。最近人々の意識は確かに変わり始めてきている。

環境保全の標語にこんな言葉がある。

Think Globally, Act Locally……

……地球規模で環境を考え、そして行動は足元から……

この言葉は最近私が最も気に入っている言葉である。まさに私が思っていることも同じなのだ。地球環境を考えることだけでは進まない、もちろん大切なことだが、実際に一人一人が行動に移すことが大切なのである。Save the earth の取り組みは身近な一歩からなのである。

現在、二酸化炭素(CO₂)を最も多く発生しているのは、重化学工業、それに電力を供給している火力発電所、そして身近な所では車からの排気ガスと言われている。重化学工業のCO₂削減は関わっている人間達がそれぞれ真剣に取り組んでいるであろう。

私達にできること、それは、まず身近に使うマイカーからのCO₂の量を減らす努力をすることが大切ではないか。それができたらどんなに空気が澄んで美しくなるであろうか。

美しい空気……私の小さい頃からの夢である。澄んだ空気の地球になるよう私達は、身近なことからもっと努力するべきではないか……

私はまず、車のエンジンの騒音、振動が低減され、回転数を下げた運転ができれば排気ガスが削減される、排気ガスが削減されれば、自然と省燃費にもつながるであろう……そんなことを考えた。車業界にいる限り車が世間の及ぼす影響をいつも考えてしまう。いかにCO₂を車から排出しない方法……それには優しい運転をすること、

そしてそれが皆ができるような車の添加剤がほしい・・・私はそのことばかりを日に日に強く考え始めていた。

★〈まずはCO2削減の努力です〉

私は、昭和56年から約10年に渡って、自動車業界、電子機器業界(家電、エレクトロニクス、精密機器等の業界)で、数多くの特殊潤滑油(含浸油、焼結金属油、電気接点油、極低温用グリース、非拡散グリース、等々)を開発してきた。また、昭和58年～62年の間、大手セラミック製造メーカーの自動車用潤滑剤の研究プロジェクトに参加し、ファインセラミックが自動車用関連の潤滑剤として応用できるか否かの研究を続けた。その結果、3つの潤滑剤(1. PTFE・四沸化エチレン樹脂 2. フロロカーボン・沸化黒鉛 3. BN・ボロンナイトライド^{*}窒化硼素)が自動車潤滑油に適する最終段階に残り、この3物質が将来有望な自動車用潤滑剤になるとその時に確信した覚えがある。今ならできる、今ならば、その時は確かに開発したが、製造粒子が大きすぎたため実現できなかったBNを今ならさらに開発し実現できる。昔に比べ今のBNはかなり粒子の大きさをコントロールできるようになったからだ。これならば絶対にCO2削減につながる添加剤を開発できる・・・。

平成16年、最初に潤滑剤を研究し始めてから20年が経っていた。3つの潤滑剤のうちエンジンオイルの添加剤として最も適している h-BNを使い、当時問題としていた大きすぎた粒径を原子、分子レベルから成長させることが可能となったナノテクノロジーの製造技術を駆使し、100ナノレベル以下の h-BN 100%のBNを開発することができたので、私は、CO2削減(省燃費)につながる添加剤 **Lubtech BORO N NITRIDE**を商品化することに成功した。h-BNを添加することによって、エンジン(全ての内燃機関)の回転時におけるフリクションロスを低減する事が出来るため、走行時のCO2を削減する事が出来、騒音も低減し、静かにエンジンを回す事が出来る・・・当然燃費も改善される・・・

そんな自動車用OIL添加剤である。ぜひ、この h-BN を使った新しい添加剤を運転者に使ってもらい、地球の空気を汚さない運転を目指していただきたい・・・私はそのことを常に思い続けてしまうのである。そうすれば星だってもっと輝いていくにちが

いない・・・そんな日をいつも夢見てしまうのだ。

地球温暖化現象の低減のため、優しい運転をすることによって、燃料消費を少しでも少なくし、そして美しい地球を守っていくという気持ちを大切にして・・・それが、私達がまず実行できるCO2削減の第一歩ではないでしょうか・・・。

Think Globally, Act Locally・・・

・・・地球規模で環境を考え、そして行動は足元から・・・

CO2削減の努力

一人一人がちょっと気をつけるだけで、実行できることなのです。
でも皆でやらないといい環境作りの道はさらに閉ざされてしまいます。



まだまだ未知の世界・・・地球表面の映像・・・